

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1組：山田）（2組：渡邊）（3組：渡邊）（4組：渡邊）（5組：渡邊）（6組：渡邊）（7組：渡邊）（8組：山田）

使用教科書： （「文学国語」東京書籍）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	漢文入門 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語や訓読の基本的なきまりや古典特有の表現などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせるとともに、その内容や解釈を踏まえてものの見方、感じ方、考え方を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで我が国の文化と外国の文化との関係について理解させ、自分のものの見方や考え方を深め、学習課題に沿って考えを発表させ 定期考査	・漢文の基本的なきまりに従って音読する。 ・訓点や、基本的な再読文字・置き字・句法について理解する。 ・未や能などの基本的な漢語の意味を理解する。 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・漢文の基本的なきまりに従って音読することができる。 ・訓点や、基本的な再読文字・置き字・句法について理解し、訓読するとともに口語訳ができる。 （小テスト・ワークシート・定期考査） 【思考・判断・表現】 漢文の訓読のきまりについて理解し、漢文の世界に関心を持つことができる。 （ワークシート・定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文の訓読のきまりについて理解し、さらなる学びへの意欲を持ち自らの学習を調整しようとしている。 （学習活動の振り返りシート・行動観察）	○	○	○	16
				○	○	○	
					○	○	1
	故事成語 「漁夫の利」 「推敲」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語や訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解させるとともに、文化的背景についての理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解させ、内容や展開について学習課題に沿って調べさせる。 定期考査	・描かれた人物、場面、時代や場所、状況、出来事、情景を読み取ることができる。 ・物語の展開ごとに内容を的確につかみ、故事成語の背景を知る。 ・「史話」に描かれた人物の言動や心情を読み取る。 ・「史話」の魅力を理解し、読み継がれてきた意義を考える。 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・漢文の基本的なきまりに従って音読することができる。 ・訓点や、基本的な再読文字・置き字・句法について理解し、訓読するとともに口語訳ができる。 （小テスト・定期考査） 【思考・判断・表現】 ・今も生きる人生の教訓や風刺などを読み取ることができる。 ・「故事成語」との対話をとおして、自分の意見を持つことができる。 ・登場人物のおかれた状況や心情を読み取ることができる。 ・「史話」が読み継がれてきた意義について、自分の意見を持つことができる。 （ワークシート・定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「故事成語」「史話」が読み継がれてきた意義について理解し、自分の意見を持つとともに、さらなる学びへの意欲を持ち自らの学習を調整しようとしている。 （学習活動の振り返りシート・行動観察）	○	○	○	16
				○	○	○	
					○	○	
2 学 期	小説 「山月記」 ・会話と地の文の關係に着目して、人物像を把握させる。 ・小説の寓意について考えさせる。 定期考査	・「山月記」を読み、虎になる前の李徴はどのような人物だったか、その性格・生き方を中心にとめる。 ・李徴が虎になった理由について告白する内容を整理する。 ・袁さんの人柄や境遇などに留意してとめる。 ・袁さんは李徴の詩についてどのように考えているか、話し合う。 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 （ワークシート） 【思考・判断・表現】 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 （ワークシート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。 （行動の観察・学習活動の振り返りシート）	○	○	○	10
				○	○	○	10

3 学 期	小説 「こころ」 「捨てない女」 ・小説の形式や表現の特色に留意して、登場人物の言動や心情を理解させる。 ・作品世界が現代に投げかける問題について理解させる。 ・映画と原作との比較を通して、小説の表現と映画の表現の違いについて理解を深めさせる。 定期考査	・「こころ」全編を読む課題を事前学習として行う。 ・「お嬢さん」恋したことにより変化していく「K」の態度や様子を整理する。 ・「精神的に向上心のないものはばかだ」という言葉について「私」の意図「K」の心情を理解する。 ・関心のある作品を鑑賞し、原作との比較や批評を通して、その表現の違いについて理解を深める。 ・「K」の自殺の原因について話し合う。 ・「捨てない女」を読み、「わたし」の考え方や心情を整理する。 ・「捨てない女」において、小説の展開上重要な働きをしている言葉や文字を抜き出し、その働きについて話し合う。 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・言葉の持つ、想像や心情を豊にする働きがあることを理解している。 (ワークシート・定期考査) 【思考・判断・表現】 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈できる。 ・作品の内容を踏まえ、人間、社会、自然などに対する物の見方、感じ方、考え方を深めている。 (ワークシート・定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで、文学的文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 (行動観察・学習活動の振り返りシート)	○	○	○	16
				○	○	○	1
				合計			
				○	○	○	70